



大阪大学 「性的指向 (Sexual Orientation)」と 「性自認 (Gender Identity)」の 多様性に関する基本方針



平成29年7月19日
大阪大学総長 西尾章治郎

大阪大学は、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、多様で心豊かな地域と世界の創造のために寄与すべく、平成28年4月に策定した「大阪大学男女協働推進宣言」において、「男女協働推進アクションプラン」を全学的に推進し、ダイバーシティ環境の実現を図ることを公表しました。

本学が目指す研究型総合大学に相応しい多様な知と人材が交差する魅力あるダイバーシティ環境をより豊かなものとしていくために、「性的指向 (Sexual Orientation)」と「性自認 (Gender Identity)」の多様性と権利を認識し、偏見と差別をなくすよう、構成員への啓発活動を行うことを基本方針として提示します。

大阪大学は、「大阪大学男女協働推進宣言」とこの基本方針を踏まえ、多様な構成員の意思と選択の自由が尊重され、その個性と能力が存分に発揮できる学修、研究、就業環境の整備に取り組んでいきます。



本学で作成したトイレサイン
共創イノベーション棟1階に使用